

日本産ヤチグモ属の地理的分布（予報）

—文献目録—

西 川 喜 朗*

A Preliminary Note on the Geographical Distribution of the Genus *Coelotes* in Japan (Araneae : Agelenidae) — Literature List —

Yoshiaki NISHIKAWA

この目録は、「日本産ヤチグモ属の地理的分布（予報）」（追手門学院大学創立十周年記念論集文学部篇：西川，1976）の報文で，分布資料として用いた文献と，その後検することができた報文4編（67, 168, 188, 189）についてまとめたものである。

ヤチグモ属 *Coelotes* 各種の分布図と分布の概要については，さきの報文を参照されたい。各文献のあとの〔 〕内には，その文献中に記録のある種の和名を次のように略記した。

クロヤチグモ（ヤチグモ）→クロ，ホラズミヤチグモ→ホラズミ，ミカドヤチグモ→ミカド，アズマヤチグモ→アズマ，カミガタヤチグモ→カミガタ，イナバヤチグモ→イナバ，メガネヤチグモ→メガネ，ヤマヤチグモ→ヤマ，シモフリヤチグモ→シモフリ，ウエノヤチグモ→ウエノ，フタバヤチグモ→フタバ，カメンヤチグモ→カメン，オオアナヤチグモ→オオアナ，ウスイロヤチグモ→ウスイロ，ウロタナグモ→ウロ。

また，略記和名のあとに，必要なものには産地および筆者の見解を追記した。

メガネヤチグモ *C. luctuosus* とヤマヤチグモ *C. modestus* (= *Tegenaria corasides*) との種名のとりちがいは，八木沼（1957）により解明された。したがって，それ以前の報文中の両種名はいれかえて用いた。

本属の分類学関係の文献については，「日本産のヤチグモ属総説」（西川，1974）および，上記の報文（西川，1976）中の参考文献を参照されたい。

- 1) 秋山隆史（1960）：天売島及焼尻島の蜘蛛類。Atypus, (20)：16—17.〔メガネ，ヤマ〕
- 2) （1962）：旭川の蜘蛛類，旭川市立郷土博物館，青少年教養シリーズ，(2)：

*追手門学院大学生物学研究室（大阪府茨木市安威）

Biological Laboratory, Otemon-Gakuin University, Ai, Ibaraki, Osaka

〔追手門学院大学文学部紀要，第10号，pp.145—154, 1976〕

〔Fac. Let. Rev. Otemon-Gakuin Univ., (10)：145—154, Dec., 1976〕

- 1—12. [メガネ]
- 3) 安念嘉一 (1940) : 富山県産蜘蛛類目録 (予報). *Acta arachnol.*, 5 : 86—91. [ヤマ]
- 4) 有田立身 (1963) : 鳥取市に生息する蜘蛛. *郷土と科学*, 9 (1) : 19—26. 鳥取県立科博. [クロ, メガネ, ヤマ, シモフリ]
- 5) ——— (1970) : 大山の真正蜘蛛類目録. *郷土と科学*, 15 (2) : 25—29. 鳥取県立科博. [メガネ=125] の引用]
- 6) ARITA, T. (1974) : A new species of *Coelotes* (Araneae : Agelenidae) from Tottori Prefecture, Japan. *Acta arachnol.*, 25 (2) : 4—43. [イナバ]
- 7) 別府義昭 (1971) : 鹿児島県の真正蜘蛛類相. pp. 1—49, pls. 1—2. 東亜蜘蛛学会, 大阪. [クロ, ミカド, ヤマ, シモフリ]
- 8) BÖSENBERG, W. und E. STRAND (1906) : Japanische Spinnen. *Abh. Senckenb. naturf. Ges.*, 30 : 93—442, pls. 3—16. [ミカド, メガネ, ヤマ, シモフリ]
- 9) 千国安之輔 (1954) : 南安曇郡産「蜘蛛類」調査報告 (第一次). 南安曇郡誌改訂資料動物部門 : pp 1—12. (孔版) [メガネ]
- 10) 茅根重夫・菅波洋平 (1969) : 筑波研究学園都市周辺のクモ類 (谷田部町周辺, 筑波山). 特別地域自然財分布調査報告書 (鹿島・行方地区, 筑波研究学園都市地区) : 288—314. [メガネ]
- 11) 遠藤啓一 (1967) : 埼玉県のクモ目録 I. *Atypus*, (43) : 23—27. [クロ, メガネ]
- 12) 藤沢庸助 (1965) : 真田町のクモ類. *続菅平その自然と人文* : 103—111. [ヤマ]
- 13) 藤田 衛 (1936) : 福井県の蜘蛛. 福井県博物学会々報, (3) : 36—46. [クロ, メガネ, ヤマ, シモフリ]
- 14) 深沢治男 (1937) : 山梨県静川村に於て獲たる蜘蛛. *Acta arachnol.*, 2 : 78—82. [メガネ]
- 15) ——— (1940) : 芝公園採集真正蜘蛛目録. *Acta arachnol.*, 5 : 19—24. [メガネ]
- 16) 権田重雄 (1972) : 真正蜘蛛各地の同定目録. *Kishidaia*, (29—32) : 9—13. [ホラズミ, ヤマ, シモフリ]
- 17) 浜村徹三 (1969) : 栃木県産真正蜘蛛目録 (II). *Atypus*, (51 / 52) : 13—24. [クロ, メガネ, ヤマ, シモフリ, フタバ]
- 18) 橋本理市 (1961) : 三重県上野市を中心とした伊賀地方の蜘蛛目録. *Atypus*, (23 / 24) : 64—68. [メガネ]
- 19) ——— (1966) : 冬期休閑田のクモ. *三重生物*, (16) : 44—45. [ヤマ, シモフリ]
- 20) ——— (1968) : 平倉演習林の真正クモ類目録. *三重大演資*, (2) : 7—12. [クロ, ホラズミ]
- 21) ———・杉永 厚 (1963) : 三重県産真正蜘蛛目録 (予報). *三重生物*, (13) : 33—40. [メガネ]
- 22) 広江幹雄 (1974) : 真正クモ類. 「岐阜県の動物」 (岐阜県高等学校生物教育研究会編) : pp. 181—185. [メガネ, シモフリ]
- 23) 本田重義 (1971) : 長野県鬼無里の造網性クモ. *Atypus*, (55) : 23—25. [ヤマ]

- 24) 本庄四郎 (1975) : 但馬産真正クモ類分布資料 2, 竹野町の真正クモ類. 兵庫県自然保護協会但馬支部研究紀要, 1 (2): 12—29. [クロ, ホラズミ, カミガタ, シモフリ, カメン, ウスイロ]
- 25) 星野悌一郎 (1937) : 新潟県産蜘蛛目録. Acta arachnol., 2 : 46—54. [メガネ, ヤマ, シモフリ]
- 26) 井上晴夫・長岐純一 (1965) : 秋田県の真正蜘蛛類. Atypus, (36): 17—22. [メガネ, ヤマ]
- 27) 石野田辰夫 (1970) : 日豊海岸の蜘蛛. (東亜蜘蛛学会第 2 回大会講演プリント): pp. 1—7. [シモフリ]
- 28) ———・筑地満男 (1969) : 霧島山のクモ類. 「霧島山総合調査報告書」: 285—298. [クロ, シモフリ]
- 29) 石山鉄幸 (1970) : 千葉県のクモ (1). Kishidaia, (20 / 21): 3—5. [ホラズミ, メガネ, シモフリ]
- 30) 景山純孝 (1966) : 山陰地方の真正蜘蛛類—第一報. 松江市立教育研究所研究集録, (3): 85—102. [クロ, メガネ, ヤマ, シモフリ]
- 31) 金子光司 (1935) : 茨城県産動物資料. 茨城博物同好会々誌, (4): 16—23. [ヤマ]
- 32) 葛西重雄 (1968) : 蜘蛛類目録. 「八丈島動植物総目録」(葛西重雄著): 158—162. [メガネ]
- 33) 片岡佐太郎 (1963) : 岩手県産真正蜘蛛類 [1]. 昭和38年度岩手県科学研究発表会 [理科の研究]: 1—16. [メガネ, シモフリ]
- 34) 萱嶋 泉 (1956) : 大分県のクモ. Atypus, (10): 13—17. [シモフリ]
- 35) ——— (1966) : 三多摩地方の蜘蛛の研究 (東京都). pp. 1—79, pls. 1—6. 国立音楽大学, 東京. [クロ, ヤマ, シモフリ]
- 36) 木庭 奏 (1958) : 熊本県で見られるクモ (1). Atypus, (15): 3—10. [ミカド→ホラズミ?, メガネ]
- 37) ——— (1959) : 同上 (2). 同上, (19): 3—9. [クロ, シモフリ]
- 38) 小林久俊 (1969) : 天龍市山東付近のクモ. Kishidaia, (12): 1—4. [クロ, ホラズミ, メガネ]
- 39) ——— (1974) : 静岡県梅ヶ島温泉のクモについて, Atypus, (62): 41—49. [クロ, アズマ, ヤマ, フタバ]
- 40) ———・権田重雄・石山鉄幸 (1973) : 玉川学園 (東京・町田市) の真正蜘蛛類. 野路, (2): 15—24. 玉川大学生物自然研究部, 東京. [クロ, アズマ, メガネ, ヤマ, シモフリ]
- 41) ———・石山鉄幸・権田重雄 (1975) : 箱根畑宿付近の真正蜘蛛類. Kishidaia, (39): 42—48. [クロ, アズマ, ヤマ, シモフリ, フタバ, ウスイロ]
- 42) 小松敏宏 (1949) : 長野県洞穴産蜘蛛の概観. 信濃教育, 昭和24年号: 1—6. [ホラズミ, ウロ]
- 43) KOMATSU, T. (1957): Some new cave spiders in Japan. Acta arachnol., 14: 67—73. [ウロ=42), 44)]

- 44) ----- (1961): Cave spiders of Japan, their taxonomy, chorology and ecology. pp. 1—91, figs. 1—37. Arach. Soc. East Asia, Osaka. [ホラズミ, ウロ]
- 45) 近藤昭夫 (1975): 習志野市の真正クモ相. 「習志野市の自然環境と生物相(習志野市内自然環境調査)」(秋山章男編): 105—126. [メガネ, ヤマ, シモフリ]
- 46) 久米忠夫 (1962): 静岡県のクモ (2). Atypus, (25): 18—21. [ヤマ]
- 47) ----- (1963): 静岡県の真正蜘蛛類. pp. 1—60. 静岡県興誠学園. [クロ, メガネ, ヤマ, シモフリ]
- 48) ----- (1967): 東三河地方の真正クモ類. 虫譜, 10: 1—10. [ヤマ]
- 49) 国見裕久 (1970): 神奈川県多摩ブルーザのクモ, Kishidaia, (16/17): 3—5. [クロ, メガネ, ヤマ]
- 50) 町田徳治 (1939): 武州御岳山付近の蜘蛛. Acta arachnol., 4: 21—23. [メガネ]
- 51) ----- (1939): 東京市品川の蜘蛛. Acta arachnol., 4: 53—57. [メガネ]
- 52) ----- (1941): 早春の蜘蛛. Acta arachnol., 6: 18—19. [メガネ, ヤマ]
- 53) -----・松下伝吾 (1940): 神奈川県神武寺附近産蜘蛛. Acta arachnol., 5: 76—80. [ヤマ]
- 54) 真鍋佳資・坂東治男 (1974): 徳島の蜘蛛. 徳島昆虫, (2): 6—15. 徳島昆虫同好会. [クロ, メガネ, ヤマ]
- 55) 松本誠治 (1967): 千葉県産真正蜘蛛類目録第1報. 千葉県動物誌基礎資料, 第6集: 67—77. [クロ]
- 56) ----- (1968): 同上, 第2報, 同上, (7): 49—54. [クロ]
- 57) 水木隆治 (1969): 青森県のクモ (1). Atypus, (49/50): 47—51. [メガネ, ヤマ, シモフリ]
- 58) 水野寿彦 (1949): 歌垣, 東郷両村に於ける人工洞穴内動物の生態学的研究 (1). 大阪博物学会会誌, 創立25周年記念号: 80—87. [メガネ]
- 59) 水沢正明・内田善昭 (1973): 新潟県の真正蜘蛛類について—第1報. 新潟県立長岡農業高等学校研究紀要, (1): 42—54. [ヤマ]
- 60) 村井工一 (1963): 岩国のクモ. 山口県の自然, (8): 22—24. [メガネ]
- 61) ----- (1972): 周防祝島の真正蜘蛛類. 山口県立山口博物館研究報告, (2): 17—19. [ヤマ, シモフリ]
- 62) -----・八木沼健夫 (1962a): 山口県蜘蛛目録資料. Atypus, (25): 21—27. [クロ, ミカド→ホラズミ, メガネ, ヤマ, シモフリ]
- 63) -----・----- (1962b): 山口県のクモ追補 (I). 山口県の自然, (6): 14—16. [ミカド→ホラズミ, ヤマ, シモフリ]
- 64) 中平 清 (1961): 高知県のクモ. Atypus, (23/24): 27—60. [シモフリ]
- 65) ----- (1963): 削除, 訂正, 追加. 1, 高知県の蜘蛛. Atypus, (29): 12. [クロ]
- 66) ----- (1966): 梶ガ森探蛛行 (その1). Atypus, (39): 13—23. [メガネ]
- 67) 中村正雄 (1925): 蜘蛛類. 「新潟県天産誌」, 439—450. [メガネ]
- 68) ----- (1940): 楽之堂随筆 (第四). Acta arachnol., 5: 80—86. [メガネ]
- 69) 仲辻耕次 (1941): 伊豆七島産蜘蛛類に就て. 農学輯報, 1 (4): 287—328, pls. 11

- 12. 〔ヤマ (岸田, 1931, *Lansania*, Vol. 3) メガネ (大島, 新島, 三宅島)〕
- 70) NAMKUNG, J. (1972): Spiders from Mt. Deogyoo-san, Korea. 韓国自然保存研究会調査報告書, 附録: 129—134. (in Korea, with English summary). 〔*C. songminjae*〕
- 71) ——— & N. PAK (1973): The spider fauna of Chun Cheon area, Kangweon do, Korea. *Kor. J. Pl. Prot.*, 12 (3): 131—137. (in korea, with English abstract). 〔*C. songminjae*〕
- 72) 西川喜朗 (1967): 蒜山高原 (岡山県) のクモ (第一報). *Atypus*, (44): 14—16. 〔メガネ, ヤマ, シモフリ〕
- 73) ——— (1972): 大阪府北部廃坑の蛛形類. 追大文紀, (6): 95—102. 〔カミガタ, シモフリ〕
- 74) ——— (1973): 日本産 *Coelotes* (ヤチグモ属) の2新種. 追大文紀, (7): 75—81. 〔カメン, ウスイロ〕
- 75) ——— (1975a): ヤチグモ属のその後の分布. *Atypus*, (64): 45. 〔ホラズミ, アズマ, カメン, オオアナ〕
- 76) ——— (1975b): ヤチグモ (*Coelotes exitialis*) の分布と変異について (予報). 追大文紀, (9): 173—185. 〔クロ〕
- 77) ———・川中陽平 (1973): 蒜山 (岡山県) の真正蜘蛛類. 蒜山の生物調査報告: 207—243. 追手門学院大学生物学研究会, 大阪. 〔クロ, ホラズミ, カミガタ, メガネ, ヤマ, シモフリ, カメン, ウスイロ〕
- 78) 西村太郎 (1961): 京都府蜘蛛目録の一資料. *Atypus*, (22): 10—16. 〔メガネ, シモフリ〕
- 79) 大江秀雄 (1966): 岐阜市周辺の蜘蛛. *Atypus*, (40): 5—28. 〔メガネ, ヤマ, シモフリ〕
- 80) 大河内哲二 (1969): 各地のクモ同定記録. *Kishidaia*, (9): 3—6. 〔ミカド→ホラズミ?〕
- 81) 大野正男 (1973): 千葉県のカモ類研究史. 千葉敬愛短大生物研究会会報, (5): 39—52. 〔クロ, ホラズミ, アズマ, メガネ, ヤマ, シモフリ〕
- 82) ———・八木沼健夫 (1968): 新島・式根島・神津島の真正蜘蛛類. 東洋大学紀要教養課程篇 (自然科学), (10): 17—29. 〔メガネ=69) の引用〕
- 83) ———・——— (1972): 日本産真正蜘蛛類分布資料 (II). 同上, (14): 51—64. 〔クロ, アズマ, ヤマ〕
- 84) ———・——— (1973): 同上 (III), 10. 青森県の真正蜘蛛類. 同上, (16): 33—55. 〔アズマ, メガネ, ヤマ〕
- 85) 岡崎常太郎・関口晃一 (1941): 浅間高原の蜘蛛類及び多足類. *Acta arachnol.*, 6: 50—59. 〔メガネ〕
- 86) 興津伸二 (1951): 真正蜘蛛類採集目録. 山形県立鶴岡高等学校生物クラブ研究集録, (1): 26—30. 〔メガネ〕
- 87) 大熊千代子 (1960): 彦山蜘蛛目録 I. 真正蜘蛛目. pp. 1—18, pls. 1—3. 九州大学

- 彦山生物学研究所. [クロ, ミカド, ヤマ, シモフリ]
- 88) 恩藤芳典・江原昭三 (1974): 氷ノ山等東中国山地国定公園拡大予定地域の動物相—鳥取県内地域の実情. 東中国山地自然環境調査報告: 141—154. [クロ, ホラズミ, ヤマ]
 - 89) 小野展嗣 (1972): 静岡県沼津市のクモ. Kishidaia, (29—32): 1—3. [ヤマ]
 - 90) ——— (1975): 日光の真正蜘蛛類. Atypus, (64): 7—25. [クロ, フタノバ]
 - 91) 小野裕一・北尾新吉・松山紘一 (1967): 宮崎県北部地方の蜘蛛. Atypus, (43): 29—57. [ヤマ, シモフリ]
 - 92) 太田定浩 (1963a): 鈴鹿山脈を主とした北勢地方の真正蜘蛛類. 鈴鹿山脈自然科学調査報告書: 111—118, pl. 1. [メガネ, シモフリ]
 - 93) 太田定浩 (1963b): 三重県北部(北勢地方)の真正蜘蛛類目録. Atypus, (31): 1—8. [メガネ, シモフリ]
 - 94) 大和昌久 (1973): 蜘蛛をたずねて (1). Kishidaia, (37): 1—4. [ヤマ]
 - 95) ——— (1975): クモ刺咬症の10例について. 衛生動物, 26: 83—87. [ヤマ]
 - 96) 大類正久 (1975): 伊豆穴の原溶岩洞調査記 (2). 遺伝, 29 (12): 45—52. [アズマ]
 - 97) OSAKI, H. (1973): Electron microscopic observations of chlamydia-like micro-organism in hepatopancreas cells of the spider, *Coelotes luctuosus*. Acta arachnol., 25: 23—26. [メガネ]
 - 98) ПАИК, K. Y. (1967): The spider fauna of Korea. Educ. J. Teachers coll. Kyungpook univ., 7/8: 55—73. [クロ, シモフリ]
 - 99) ——— (1971): Korean spiders of Genus *Coras* (Araneae: Agelenidae). Korean J. Zool., 14 (1): 7—8, figs. 1—21. [メガネ]
 - 100) SAITO, S. (1934): Spiders from Hokkaido. Jour. Facul. Agri. Hokkaido Imp. Univ., Sapporo, 33, Pt. 5: 267—362. [メガネ, ヤマ]
 - 101) ——— (1939): On the spiders from Tohoku (Northernmost part of the main Island), Japan. Saito Ho-on Kai Mus. Res. Bull., 18: 1—91, pl. 1, figs. 1—10. [メガネ, ヤマ, シモフリ]
 - 102) 斉藤吉永 (1964a): 千葉県柏市蜘蛛目録 (I). pp. 1—16. (タイプ孔版) [ヤマ, シモフリ]
 - 103) ——— (1964b): 同上 (II). pp. 1—36. (タイプ孔版) [クロ, ホラズミ]
 - 104) 佐藤正義・関下俊英・新海栄一 (1969): 日本私学教育研究所周辺の生物相(II). 日本私学教育研究所紀要, (4): 1—18. [ホラズミ, メガネ, シモフリ]
 - 105) SCHENKEL, E. (1963): Ostasiatische spinnen aus dem Muséum d' Histoire Naturelle de Paris. Mém. Mus. Natn. Hist. Natr. Série A. Zool., 25 (2): 289—494. [*C. luctuosus* var.]
 - 106) 嶋田順一 (1975): 埼玉県における採集記録 (1). Kishidaia, (39): 22—26. [シモフリ]
 - 107) 下謝名松栄 (1971): 奄美大島・久米島及び宮古島の真正蜘蛛類. Atypus, (57): 19

—31.〔ホラズミ (奄美大島)〕

- 108) 信濃教育会南安曇部会 (1941): 日本アルプス山系の蜘蛛, pp. 1—163, pls. 1—21.
松本. 〔メガネ〕
- 109) 進士織平・小野折三郎 (1936): 岩手県産蜘蛛類の分布目録. 齊藤報恩会博物館時報,
(30): 6—16. 〔メガネ, ヤマ〕
- 110) 新海 明 (1970): 神奈川県小倉山付近のクモ. Kishidaia, (14): 1—2. 〔クロ, ホ
ラズミ, ヤマ〕
- 111) 新海栄一 (1965): 尾瀬の蜘蛛類. Atypus, (36): 23—24. 〔メガネ〕
- 112) ————— (1967): ハケ岳の真正蜘蛛類. Atypus, (44): 25—28. 〔ヤマ〕
- 113) ————— (1969a): 東京都産真正蜘蛛類, pp. 1—65, pls. 1—10. 東亜蜘蛛学会, 大
阪. 〔クロ, ホラズミ, ミカド→C. sp., アズマ, メガネ, ヤマ, シモフリ〕
- 114) ————— (1969b): 川崎市王禅寺付近のクモ (1). Kishidaia, (6): 1—4. 〔クロ, ヤ
マ, シモフリ〕
- 115) —————・原 勝司 (1975): 秩父地方の真正クモ類. Atypus, (65): 7—18, pl. 1.
〔クロ, ホラズミ, アズマ, メガネ, ヤマ, シモフリ〕
- 116) SUGA, E. and M. MURAKAMI (1972): The spider fauna of Aichi. pp. 1—18, fig. 1.
東亜蜘蛛学会第4回大会講演プリント. 〔メガネ, ヤマ, シモフリ〕
- 117) 菅波洋平 (1971): 茨城県の真正蜘蛛類 1. 茨城県北部の真正蜘蛛類について. Aty-
pus, (56): 14—37. 〔メガネ, ヤマ, シモフリ〕
- 118) ————— (1975): 茨城県の真正蜘蛛類. 茨城県高等学校教育研究会生物部, 茨城の
生物第1集: 131—143. 〔クロ, ミカド?, メガネ, ヤマ, シモフリ〕
- 119) —————・関由美子・沼田貞子・堀越早苗 (1975): 石尊山の真正蜘蛛類 (茨城県北
部). Kishidaia, (39): 9—14. 〔ヤマ〕
- 120) 高橋幸雄 (1939): 愛媛県産蜘蛛目録. Acta arachnol., 4: 146—152. 〔メガネ, シ
モフリ〕
- 121) 高島春雄 (1938): 下田・天城の蜘蛛. Acta arachnol., 3: 30—34. 〔シモフリ〕
- 122) ————— (1940): 天城の動物雑観 (II). Acta arachnol., 5: 132—138. 〔シモフリ〕
- 123) —————・植村利夫 (1936): 夏の蜘蛛, 下田と天城. Acta arachnol., 1: 128—134.
〔シモフリ〕
- 124) 武井武一 (1967): 利根沼田の真正蜘蛛類. 群馬生物, (16): 1—5. 群馬県高等学校
教育研究会生物部会誌. 〔メガネ, シモフリ〕
- 125) 田中正行 (1939): 鳥取県淀江町壺瓶山, 大山にて採集せる蜘蛛. Acta arachnol.,
4: 24—27. 〔メガネ (大山)〕
- 126) 垂水有三 (1972): 香川県のカモ (1). Atypus, (58): 36—42. 〔ミカド→ホラズミ〕
- 127) 徳本 洋 (1963): 白山国立公園のカモ類 I. Atypus, (31): 27—34. 〔ヤマ〕
- 128) ————— (1965): 真正クモ類. 能登半島学術調査書: 285—287. 石川県. 〔メガネ〕
- 129) 東京クモ談話会 (1969): 高尾山のクモ. Kishidaia, (5): 3—5. 〔クロ, ヤマ〕
- 130) 東京蜘蛛談話会 (1972a): 滝山城趾公園のカモ. Kishidaia, (29—32): 15—17. 〔クロ,

- メガネ, ヤマ]
- 131) ————— (1972b): 清澄山の真正蜘蛛類. Kishidaia, (29—32): 18—25. [クロ, ヤマ]
- 132) ————— (1972c): 奥秩父のクモ. Kishidaia, (29—32): 26—33. [メガネ]
- 133) 槌賀安平 (1938): 伊勢神宮々域の蜘蛛類. Acta arachnol., 3: 59—65. [メガネ]
- 134) 牛田清彦 (1968): 愛知県の真正蜘蛛類 (1). Atypus, (45): 25—32. [メガネ]
- 135) 植村利夫 (1936a): 神奈川県大山にヤチグモを産す. Acta arachnol., 1: 10—12. [クロ]
- 136) ————— (1936b): 和歌山県産蜘蛛目録. Acta arachnol., 1: 82—100. [メガネ, ヤマ, シモフリ]
- 137) ————— (1937): 蜘蛛研究室彙報 (1). Acta arachnol., 2: 105—112. [メガネ]
- 138) ————— (1938): 同上 (2). 同上, 3: 19—30. [メガネ]
- 139) ————— (1939): 同上 (3). 同上, 4: 112—118. [メガネ]
- 140) ————— (1940): 井之頭公園産蜘蛛及多足類. Acta arachnol., 5: 217—224. [メガネ]
- 141) ————— (1954): 冬の東京のクモ. Atypus. (5): 1—12. [メガネ, ヤマ, シモフリ]
- 142) ————— (1965): 八丈島産蜘蛛類に就いて. 城南紀要, 2: 17—26. [メガネ幼生→C. sp.]
- 143) 渡辺一高 (1962): 釈迦・御前岳のクモ類. 大分釈迦・御前岳生物調査報告: 5—9. [ヤマ]
- 144) 王寺幸寛 (1937): 宮崎地方蜘蛛目録 (2). Acta arachnol., 2: 22—26. [メガネ, シモフリ]
- 145) 八木沼健夫 (1938a): 大阪府産蜘蛛目録. Acta arachnol., 3: 2—14. [メガネ, シモフリ]
- 146) ————— (1938b): 中国地方の蜘蛛相概要. Acta arachnol., 3: 142—152. [シモフリ]
- 147) ————— (1940): 蜘蛛類研究報告. Acta arachnol., 5: 123—132. [メガネ]
- 148) ————— (1950): 大阪府産蜘蛛類 (1). 蜘蛛の研究, (1): 1—18, pls. 1—5. (孔版, 著者自刊) [メガネ, シモフリ]
- 149) ————— (1952): 北山峡の蜘蛛. Atypus, (1): 13—20. [メガネ]
- 150) ————— (1956): 奈良県の蜘蛛. 関西自然科学研究会会誌, (9): 8—12, figs. A—K. [メガネ, ヤマ, シモフリ]
- 151) ————— (1957): 北海道の蜘蛛. Acta arachnol., 14: 51—61. [シモフリ]
- 152) ————— (1958a): 青森県下北半島の蜘蛛. 資源科学研究所彙報, (46 / 47): 69—77. [メガネ, ヤマ, オオヤチ→アズマ]
- 153) ————— (1958b): 広島県比婆郡の真正蜘蛛類 (I). 比和科学博物館研究報告, (1): 1—4. [クロ, ホラズミ]
- 154) ————— (1958c): 同上 (II). 同上, (2): 10—12. [クロ, メガネ, ヤマ]
- 155) YAGINUMA, T. (1961): Spiders from the Tokara Islands. Bull. Osaka Mus. Nat. Hist., (13): 81—86. [シモフリ (宝島)]

- 156) 八木沼健夫 (1962) : 洞穴産の蜘蛛. Bull. Osaka Mus. Natr. Hist., (15): 65—77.
〔ウロ=43〕の引用]
- 157) ————— (1965) : 8 真正蜘蛛類. 箕面山の動物相調査: 255—266. 大阪府農林部.
〔クロ, ホラズミ, メガネ, ヤマ, シモフリ〕
- 158) ————— (1967a): VI 蜘蛛類. 東大阪市の動物—生駒山を中心とする : 19—21. 東
大阪市. 〔メガネ, ヤマ, シモフリ〕
- 159) ————— (1967b): 日本産真正蜘蛛類の検討・追加ならびに 7 新種の記載. 追大文紀,
(1): 87—107. 〔フタバ〕
- 160) ————— (1969) : 対馬産真正蜘蛛類. 国立科博専報, (2): 79—92. 〔オオアナ〕
- 161) ————— (1970) : 分布資料. Atypus, (53): 53. 〔フタバ〕
- 162) ————— (1971a): 富士山の真正蜘蛛類 (予報). 富士山 (富士山総合学術 調査 報告
書) : 1018—1021. 〔クロ, フタバ〕
- 163) ————— (1971b): 大雪山のクモ (2). Atypus, (57): 9—12. 〔シモフリ〕
- 164) YAGINUMA, T. (1972a): The fauna of the lava caves around Mt. Fuji-san, IX.
Araneae (Arachnida). Bull. Natn. Sci. Mus. Tokyo, 15: 267—334. 〔クロ,
ホラズミ, アズマ, シモフリ, フタバ〕
- 165) 八木沼健夫 (1972b): ミカドヤチグモ (*Coelotes micado*) の正体. Atypus, (59): 1
—5. 〔ミカド〕
- 166) ————— (1973) : クモ. 福祉エリア生態環境調査総合解析報告: 15—17. 〔クロ, カ
ミガタ, シモフリ〕
- 167) ————— (1974) : 4 クモ類. 淀川の河川敷における生態調査報告書: 101—113. 〔カ
ミガタ, シモフリ〕
- 168) ————— (1975a) : 湯原清次氏著「蜘蛛の研究」について. 南紀生物, 17 (1) : 1—6.
〔ヤマ〕
- 169) ————— (1975b) : 日本の真正蜘蛛類相(V). 追大文紀, (9): 187—195. 〔ウロ〕
- 170) —————・村井工一 (1960) : 山口県のクモ. 山口県の自然, (3): 8—13. 〔クロ,
メガネ〕
- 171) —————・西川喜朗 (1969) : JIBP 主調査地御岳地域における真正蜘蛛相の調査
(1968) 〔II〕. 追大文紀, (3): 137—146. 〔ヤマ〕
- 172) —————・————— (1970) : JIBP-CT 補充地域対馬における真正蜘蛛類の調査.
追大文紀, (4): 129—139. 〔ヤマ, シモフリ〕
- 173) —————・————— (1972) : 霧島山の真正蜘蛛類. 陸上生態系における動物群集の
調査と自然保護の研究 (JIBP-CTS 報告書), 昭和46年度研究報告: 59—80.
〔ヤマ〕
- 174) —————・————— (1973a): 大台ヶ原山の真正蜘蛛類. 同上, 昭和47年度研究報告 :
66—81. 〔ホラズミ, カミガタ, ヤマ〕
- 175) —————・————— (1973b): 7 富士山の蜘蛛. 富士山西斜面学術調査報告: 120—
145. 建設省. 〔クロ, ホラズミ, アズマ, ヤマ, シモフリ, フタバ〕
- 176) —————・—————・垂水有三 (1970) : 石鎚山の真正蜘蛛類. Atypus, (53) 付録

- : pp. 1—8. [ヤマ, シモフリ]
- 177) ———・大野正男 (1967): 北海道沿岸島嶼の真正蜘蛛類. 東洋大学紀要教養課程
篇 (自然科学), (8): 13—29. [メガネ, ヤマ, いずれも 1] の引用 (焼尻島)]
- 178) ———・新海栄一 (1971): 分布資料. Atypus, (55): 33—34. [フタバ]
- 179) ———・——— (1975): 分布資料. Atypus, (64): 26. [ウロ]
- 180) 矢島庸助 (1961): 上田小県地方のクモ類. Atypus, (23 / 24): 68—70. [メガネ]
- 181) ——— (1963): クモ類. 上田小県誌, 第四巻自然編: 750—758. [メガネ]
- 182) YAMAGUCHI, T. and T. YAGINUMA (1971): The fauna of the lava caves in West
Japan VIII. Araneae (Part 2). Bull. Natn. Sci. Mus. Tokyo, 14: 171—
180. [ウエノ (長崎県福江島)]
- 183) 山川 守 (1973): 横浜のクモ—保土ケ谷. Kishidaia, (36): 1—5. [メガネ, ヤマ]
- 184) ——— (1974): ベートトラップのクモ. Kishidaia, (38): 6—7. [クロ, メガネ]
- 185) ———・熊田憲一 (1973): 丹沢山塊の真正蜘蛛類. Atypus, (60): 31—54. [ク
ロ, アズマ, メガネ, ヤマ, シモフリ]
- 186) 米田 宏 (1969): 書写山 (姫路市) のクモ類について. Atypus, (51 / 52): 25—28.
[ヤマ]
- 187) 吉田 哉 (1971): 山形市のクモ. Kishidaia, (26—28): 13—15. [シモフリ]
- 188) 吉見一郎 (1963): 栗鹿蜂のクモ. ひかみ, (7) 栗鹿山特集号: 14—16. [ヤマ]
- 189) 湯原清次 (1931): 蜘蛛の研究. pp. 1—305. 総合科学出版協会, 東京. [p. 225 のヤ
マヤチの背面図の触肢はシモフリに似る]

ま と め

日本のヤチグモ属 *Coelotes* は, L. KOCH (1878) が 3 種を記載したのに始まり, KARSCH (1879), BÖSENBERG und STRAND (1906), STRAND (1907) らにより計 10 数種が記載された. その後, 国内での研究がすすみ, 1957 年より小松敏宏, 八木沼健夫, 山口鉄男, 西川, 有田立身の各氏により 10 種が記載された. またこの間, SIMON (1880) の中国産のクモにヤマヤチグモが同定された. これらのなかには別属で記載されたものもあるが, 現在は 17 種にまとめられている. また属名の *Coelotes* については問題があり, 近属の *Coras* や *Tegenaria* などとの類縁関係については検討中であるが, 現在のところ上記 17 種を *Coelotes* 属としてあつかった.

はじめに述べた報文 (西川, 1976) でもふれたが, *Coelotes* のような地表性のクモのなかには, その分布は, 隔離や過去の気候や地史・地質などの歴史的要素が強い要因となっていると考えられる種がある. このような局地的な分布を示す種や地理的変異の顕著な種について, その分布の要因や地理的変異を究明することは, 生態学やとくに分類学・系統進化学の研究上, 格好の材料となりうる. 筆者はクモを材料として, より多くの個体を検討して, これらの各分野の研究をさらにすすめたい.

おわりになったが, ここにあげた 189 編の報告のなかには, 残念ながら地図上の地点の印をうつことが出来なかったものがある. *Coelotes* 属にかぎらず, クモの目録などを報告する場合は, 各個体の採集地点をはじめ, データーはできるだけ詳しく報告し多くの人の参考になるよう, お互いに心がけたいと思う.